青い森のサイバーセキュリティ

令和３年８月
青森県警察本部保安課
サイバー犯罪対策室

事業継続を脅かすランサムウェア!

ランサムウェア「Cring」の被害が拡大中！

ランサムウェアによる被害が国内で再び拡大しているとの情報が複数の団体から報告されています。

過去、「**Jigsaw**」や「**WannaCry**」といったランサムウェアが国内でも猛威を振るい、ランサムウェアの存在が一気に知られるところとなりましたが、現在は、以前とまた異なる手口で感染、脅迫を行っているようです。

感染経路はVPN

テレワークの拡がりにより、あらゆる業種でVPNの導入が進む一方、普及に伴い、悪意ある集団の侵入ターゲットにされ易くなっており、VPNゲートウェイの脆弱性を突かれ、不正侵入される事案が過去複数発生しています。

今回の「Cring」も特定のベンダーのVPNゲートウェイの脆弱性を突いて内部に侵入し、感染を拡げるものと見られます。

脅迫に新たな手口

ランサムウェアの代表的な脅迫手口は

侵入・感染 ⇨ データを暗号化 ⇨ 暗号化解除のための身代金を要求

といったものですが、現在はこれに加え、「**データを外部に送信**」し「**データを公開しないことと引き換えに身代金を要求**」するものが増加しています。

事業継続のためには総合的な対策を

ランサムウェア対策に現在のところ決定打はありません。

しかも、データ暗号化によるシステム停止は事業継続に重大な影響を及ぼす危険性の高い手口です。

事業への影響を最小限にするためには、日常の継続的なセキュリティ対策に加え、被害発生時における**対応体制の確立**、**対応方針の策定**などを迅速に行えるよう、あらかじめ**基本方針**を定め、備えておきましょう。